



第11回 国労東日本軟式野球大会開催

決勝は東京同士の激突！制したのは東京A・新橋支部！



(組合員の購読料は)
(組合費に含まれます)

港区新橋5-15-5
交通ビル
国労東日本本部
発行責任者 伊藤秀樹
編集責任者 伊藤隆夫

No. 660 定価 20円

2007年
6月15日

第11回野球大会 特集

主催 国鉄労働組合東日本本部
後援 国鉄労働組合・(財)国労会館
全国交通共済協東日本事業本部



優勝：東京A（新橋）

5月10～11日、国労東日本本部は第11回軟式野球大会を、東京品川・大井ふ頭中央海浜公園で開催。各地方本部選抜の10チームによる熱戦を展開した。

千一△賞

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	計	備考
東京B	0	1	0	0	2	1		4	
東京A	2	0	2	0	2			6	



準優勝：東京B（横浜）

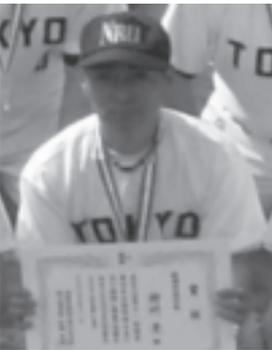
決勝戦

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	計	備考
盛岡	0	0	4	1	2	5		12	
高崎	0	0	0	2	1	0		3	

3位決定戦



3位：盛岡



最優秀選手賞
狩野豊（東京A）

最優秀投手賞
高木和美（東京A）

個人賞受賞者

打撃賞
数野保夫（東京B）

敢闘賞
杉沢武美（東京B）



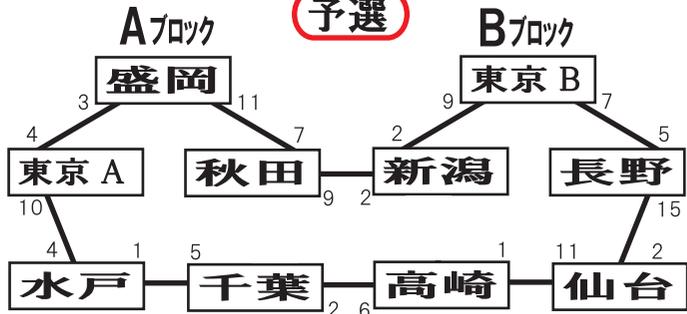


右から 坂本審判長 三人目

大会 一日目

「選手入場」の掛け声と共に流れる入場曲、各地方選抜10チームが開会式会場のグラウンドに集合。前回大会優勝の長野地本チームによる優勝旗返還に続き、前段で行われたキャプテン会議で見事一番くじを引き当てた盛岡地本チーム・菊池辰夫キャプテンによる「宣誓」で大会の火蓋が切られた。

五角形の頂点にチームをおき、それぞれのチームが隣同士の2チームと試合を行い、順位を決定する方式。日程の都合上、5試合同時に行ったため、一部、ブロックの枠を超えて、第1試合および第2試合の時に、それぞれブロック内の組合せ外となったチーム同士が試合した。



ギリシャ方式とは

- ※ Aブロックは、東京A（新橋）が2勝し、1位で決勝へ
3位決定戦進出は、1勝1敗の盛岡、千葉、秋田による抽選会の結果、盛岡が！
- ※ Bブロックは、東京B（横浜）が2勝し、1位で決勝へ
3位決定戦進出は、1勝1敗の高崎、仙台、長野による抽選会の結果、高崎が！

予選解説

2日目は、瞬間最大風速30メートルの強風が吹き荒れる悪天候の中、日頃はたきつけるバッティングを信条とする選手も、今日だけは打球を打ち上げれば……ボールの行方も風任せで、好プレー珍プレーが連続。予選2回戦から優勝・3位

大会 二日目



風がのったかな？

に進出。結果、盛岡地本チームが12対3で3位を勝ち取った。優勝決定戦は予選ブロックを勝ち抜いた東京同士のAチーム・新橋支部とBチーム・神奈川地区本部が頂上対決。見事強風を？制した新橋支部チームが初優勝し東京地本に第9回大会以来の3度目の優勝旗を持ち帰った。

決定戦までが行われた。まれに見る激戦・接戦が続いた予選終了後に行われたキャプテン会議では、3位決定戦進出をかけて両ブロックとも3チームによる大抽選会が行われ、運を味方につけた高崎地本チームと盛岡地本チームが3位決定戦

2日目は朝から強風に煽られ選手を悩ませることになった。こんな時は思い掛けぬ珍プレーが発生するという審判泣かせでもあるのだ。

第11回国労東日本本部野球大会は、会場も大井スポーツセンターに変更して開催された。当日は、今にも降り出しそうな空模様のため、急遽球場を増やし5面での予選となった。試合終了直後に降雨となる絶妙のタイミングで運営側としては安心だった。

雨と強風を絶妙に乗り越えて成功させた11回大会 現役 OBが一丸となって 若手を育てる

国労東京審判団 審判長 坂本昌幸

まして、高齢化著しい選手顔ぶれを見ると怪我や筋肉痛等の心配もあったが、普段の練習の成果を充分発揮し、ハッスルプレーの続出という素晴らしい

しい大会となった。更に、開会式では東京地本で20歳の青年が国労加入を果たした旨の報告がされ、元氣の出る挨拶に皆が拍手と笑顔で祝福した。団塊の世代が多い我が組織の中に若い息吹が生まれるのは嬉しい限りだ。審判団も高齢化が目立ち、OBの先輩達にも協力して戴いている現状であるが、

ウツ…腰が……

次代を担う若手の加盟も見られ拡大傾向にある。「祐ちゃん」「マー君」人気で、野球はプロ・アマ問わず話題が絶えない今日だが、エリア大会に「もっと応援団としての仲間の結集があればな」と思う。現在エリア大会は隔年で開催されているが、毎年開催となることを願ってやまない心境だ。その為にも一層技術を磨き、次回の大会の成功に向けて奮闘していきたい。

がん予防・検診から治療まで、とことん支援！
健康支援金プラス！
健康応援団MAX
アベニール 株式会社
03-3437-6810



よっしゃ！もらった！！

